

赤坂御用地の陸産等脚目および端脚目甲殻類¹⁾

布 村 昇²⁾

Noboru Nunomura²⁾: Terrestrial Isopod and Amphipod Crustaceans from the
Akasaka Imperial Gardens, Tokyo, Japan

東京都港区の赤坂御用地は、東京都区内では皇居、明治神宮、国立科学博物館自然教育園などと並び、豊かな緑がまとまって存在する場所である。江戸時代には紀州藩の屋敷があり、庭園としての歴史は長い、人工的な環境から出発している。土壌動物のうち、等脚目（ワラジムシ目）や端脚目（ヨコエビ目）は、環境との関係が比較的顕著に現れる動物群であると考えられる。この地で調査をする機会を得たので結果を記録するとともに、皇居の調査結果と比較し（Nunomura, 2000）、都区内の陸産甲殻類相研究の資料としたい。

出現種分類学的扱いには、重要な文献を入れた。標本は原則として国立科学博物館に保管してある。

調査方法および調査日程

見つけ取り法と簡易シフティングを中心として1日2-3時間の調査を行った。一部のリッターは富山市科学文化センターに持ち帰り、微小種を抽出した。本報告には著者自身が採集した標本だけを調査したのでリストでは採集者名はすべて省略した。

2003年3月31日。調査場所：洗心亭跡、切り通し坂、衆芳亭-櫻馬場間、菖蒲池など。調査者：布村昇、武田正倫、野村周平。

2003年5月20日。調査場所：望嶽台、衆芳亭-櫻馬場間、梅林、作業所近辺など。調査者：布村昇、武田正倫。

Order Isopoda 等脚目

Family Ligiidae フナムシ科

Ligidium japonicum Verhoeff, 1918 ニホンヒメフナムシ

Ligidium japonicum Verhoeff, 1918, p. 114; Nunomura, 1983, pp. 36-37, fig. 7.

[調査標本] 4♀♀, 切り通し坂北, Mar. 31, 2003

Family Trichoniscidae ナガワラジムシ科

Haplophthalmus danicus Budde-Lund, 1885 ナガワラジムシ

Haplophthalmus danicus Budde-Lund, 1885, p.20; Nunomura, 1983, pp. 63-65, fig. 27.

[調査標本] 8♂♂152♀♀, 菖蒲池東, Mar.31, 2003; 2♀♀, 切り通し坂北, Mar. 31, 2003; 1♀, 衆芳亭-櫻馬場間, Mar.31, 2003; 1♀, 作業所裏, May 20, 2003.

¹⁾ 富山市科学文化センター研究業績第308号。

²⁾ 富山市科学文化センター 富山市西中野町1丁目
Toyama Science Museum, 1-8-31 Nishinakano-machi, Toyama-shi, 939-8084 Japan
E-mail: nunomura@tsm.toyama.toyama.jp

Family Trachelipidae トウヨウワラジムシ科

Mongoloniscus katakurai (Nunomura, 1987) コガタハヤシワラジムシ*Nagurus katakurai* Nunomura, 1987, pp. 28–30, fig. 112.*Mongoloniscus katakurai*: Nunomura, 1999, p. 88.

[調査標本] 12♀♀, 衆芳亭-櫻馬場間, Mar.31, 2003; 2♂♂15♀♀, 切通し坂, Mar.31, 2003; 3♀♀, 洗心亭跡, Mar. 31, 2003; 3♂♂8♀♀, 望嶽台, May 20, 2003; 7♂♂13♀♀, 作業所, May 20, 2003; 2♂♂12♀♀, 梅林, May 20, 2003.

Lucasioides tokyoensis Nunomura, 2000 トウキョウハヤシワラジムシ*Lucasioides tokyoensis* Nunomura, 2000, pp. 88–89. fig. 4.

[調査標本] 1♀, 梅林, May 20, 2003.

Family Armadillidae コシビロダンゴムシ科

Venezillo obscurus (Budde-Lund, 1885) トウキョウコシビロダンゴムシ*Armadillo obscurus* Budde-Lund, 1885, p. 285.*Sphaeriilo obscurus*: Nunomura, 1990, pp. 11–13, fig. 142.*Venezillo obscurus*: Nunomura, 2000, p. 624.

[調査標本] 1♀, 菖蒲池北東, Mar. 31, 2003; 4♂♂8♀♀, 切り通し坂, Mar. 31, 2003; 7♀♀, 望嶽台, May, 20, 2003; 1♂♂5♀♀, 衆芳亭-櫻馬場間, May 20, 2003.

Family Armadillidae オカダンゴムシ科

Armadillidum vulgare Latreille, 1804 オカダンゴムシ*Armadillidum vulgare* Latreille, 1804, p. 48; Nunomura, 1990, pp. 3–5, fig. 137.

[調査標本] 3♂♂2♀♀, 衆芳亭-櫻馬場間, Mar. 31, 2003; 5♀♀, 切通し坂下, Mar. 31, 2003; 2♂♂20♀♀, 作業所, May 20, 2003; 3♀♀, 梅林, May 20, 2003; 1♂♂, 下の池, May 20, 2003; 1♂♂, 切通し坂下, Mar. 31, 2003.

Order Amphipoda 端脚目

Family Talitridae ハマトビムシ科

Platorchestia humicola (Martens, 1868) オカトビムシ*Orchestia humicola* Martens, 1868, pp. 56–58.*Platorchestia humicola*: Morino 1991, p. 65, fig: 231-1.

[調査標本] 14exs., 切通坂 (寒香亭北), Mar. 31, 2003; 17exs., 作業所裏, Mar. 31, 2003; 4exs., 望嶽台, Mar. 31, 2003; 4exs., 梅林, Mar. 31, 2003.

考 察

調査の結果、等脚目は4科5属6種、端脚目は1種が確認された(図1)。もっとも多数が確認されたのは、比較的高い自然度を好むと考えられるナガラジムシ(等脚類の確認個体の54%)であり、同様な環境に多いコガタハヤシワラジムシ(等脚類の確認個体の25%)などがそれに次いだ。かなり高い自然度を指標すると考えられるトウキョウコシビロダンゴムシ(等脚類の確認個体の8%)が4ヶ所から確認され、もっともよく保全された森林もしくは湿潤な環境を指標するニホンヒメフナムシも1ヶ所で確認された。一方、都市的環境を指標する種に関しては、オカダンゴムシ(等脚類の確認個体の12%)が人為の影響の強い場所に生息していたものの、皇居の調査結果と同様にワラジムシの

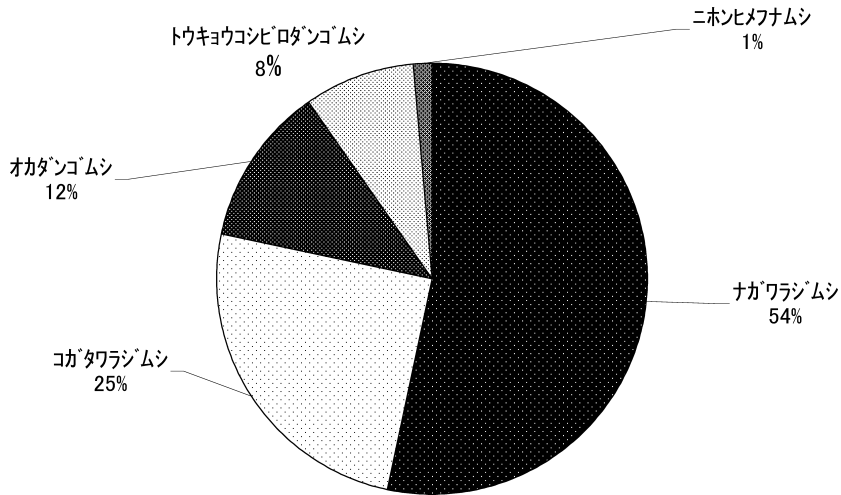


図1. 赤坂御用地における陸産等脚目甲殻類個体数の構成比。

確認はまったくできなかった。

今回確認された種数は2目をあわせて7種であり、18種が確認された皇居に比べると39%である(表1)。これは延べ5年間にわたって調査を実施した皇居と違い、今回の調査は2日間のみであって、調査回数が少ないことに加えて、115 haにおよぶ皇居に比べると赤坂御用地は51 haと小さいことによるものと考えられる。さらに、皇居には新種や新記録種が含まれ、ほかで見つかっていない種も多いことから、皇居の自然は格段に豊かな環境であり、都内でもこれだけの種が生息する環境はほかにはないと推測される。したがって、今回の赤坂御用地の調査結果の方が、東京にあって「よく保存された自然の等脚類および端脚類相」の一般的な姿をあらわしていると解釈した方が良いと思われる。

表1. 赤坂御用地と皇居(Nunomura, 2000)における陸産等脚目および端脚目甲殻類の種類数。

	皇居	赤坂御用地	赤坂御用地で優占している種類
フナムシ科	1	1	
ナガラワジムシ科	1	1	ナガラワジムシ
クキワラジムシ科	1	0	
ヒメワラジムシ科	1	0	
ホンワラジムシ科	1	0	
トウヨウワラジムシ科	7	2	コガタハヤシワラジムシ
コシビロダンゴムシ科	1	1	トウキョウコシビロダンゴムシ
ワラジムシ科	2	0	
オカダンゴムシ科	1	1	オカダンゴムシ
ハマトビムシ科	2	1	
合計	18	7	

謝 辞

この調査をご発案され、貴重な機会をお与えいただき、お励ましをいただいた常陸宮正仁親王に厚く感謝申し上げます。また、調査に際し、ご援助いただいた、宮内庁職員の方がたと国立科学博物館動

物研究部の武田正倫博士に深謝する。

Summary

Isopod and amphipod crustaceans in the grounds of the Akasaka Imperial Gardens, Tokyo, were surveyed in 2003. As the results, six species of the terrestrial isopod crustaceans and one species of amphipod were recorded. The most dominant species were *Haplophthalmus danicus* and *Mongoloniscus katakurai*, which are considered to indicate relatively well preserved nature. *Ligidium japonicum* and *Spherillo obscurus*, indicating a well reserved nature, also occurred in this area, though their population is small.

引用文献

- Brandt, J. F., 1833. Conspectus Monographiae Crustaceorum Oniscodurum Latreilli. *Bull. Soc. imp. Nat. Moscou*, 6: 171-193.
- Budde-Lund, G., 1885. Crustacea Isopoda Terrestira, per familias et genera et species descripta. Haunia, 319 pp.
- 岩本嘉兵衛. 1943. 日本産陸棲等脚類について. 植物及動物, 11(12): 17-32.
- Latreille, P. A., 1804. Histoire naturelle, générale patiquelière des Crustacés et des Insectes, 7: 1-413. Paris.
- Martens, E. von., 1868. Über einige ostasiatische Süßwasserthiere. *Arch. Naturgesch.*, 34: 1-64.
- 森野 浩, 1999. ヨコエビ目. 青木淳一編著, 日本産土壌動物一分類のための図解検索, pp. 626-644. 東海大学出版, 東京.
- Nunomura, N., 1983. Studies on the terrestrial isopod crustaceans in Japan. Taxonomy of the families Ligiidae, Trichoniscidae and Olbrinidae. *Bull. Toyama Sci. Mus.*, (5): 23-68.
- Nunomura, N., 1987. Studies on the terrestrial isopod crustaceans in Japan. Taxonomy of the families Trachelipidae and Porcellionidae. *Bull. Toyama Sci. Mus.*, (11): 1-76.
- Nunomura, N., 1990. Studies on the terrestrial isopod crustaceans in Japan. Taxonomy of the families Armadillidiidae, Armadillidae and Tylidae, with taxonomic supplements to some other families. *Bull. Toyama Sci. Mus.*, (13): 1-58.
- Nunomura, N., 2000. Terrestrial isopod and amphipod crustaceans from the Imperial Palace, Tokyo. *Mem. natn. Sci. Mus., Tokyo*, (35): 79-97.
- 布村 昇, 1999. 日本産陸生等脚目 (Isopoda) の分類学的位置の変更について. *Edaphologia*, (62): 81-91.
- 布村 昇, 2005. 常盤松御用邸の陸産等脚目. 国立科博専報, (39): 495-498.
- Schmalfuss, H., 2003. World catalog of terrestrial Isopods (Isopoda: Oniscidea). *Stuttg. Beitr. Naturk.*, (A), (654): 1-341.
- Verhoeff, K. W., 1918. Zur Kenntnis der Ligidien, Porcellioniden und Onisciden. 24. Isopoden-Aufsatz. *Arch. Naturgesch.* 82A(10): 108-169.